第11部
財政

第1章 財政
202 決算の全体像
203 一般会計 歳入・歳出の状況

第2章 県税
204 主要税目の税収額

第3章 市町村財政
205 市町村財政力指数
206 市町村経常収支比率
207 市町村税徴収率

市町村財政力指数

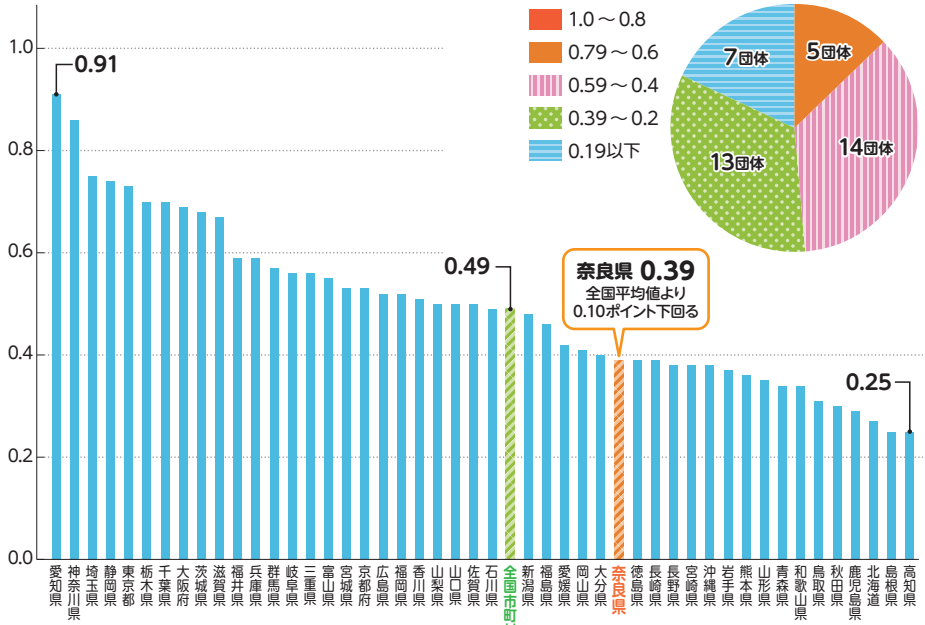
財政力指数の県内市町村平均値0.39
全国31位(全国平均0.49)

CHECK 財財政力指数は、県内市町村の比率の平均値(2020(R2)～2022(R4)年度の3カ年)が0.39となっており、全国平均値の0.49より0.10ポイント下回っています。
これは、法人からの税収が乏しいことに加えて、指数が0.2を下回る市町村の割合が大きいからです。

財政力指数とは、その市町村の財政力の強弱を表す指標で、「標準的な行政サービスに必要な経費に対する市町村税や各種交付金の割合」により求められます。指数が1.0を下回るほど財源不足が大きくなり、いわゆる財政力が弱い(低い)とされ、地方交付税による財源の補てんの割合が増加します。

※ 平均値の算出には、東京都特別区は含んでいない。

財政力指数　都道府県別市町村平均
(2020(R2)～2022(R4)年度 3カ年平均値)
資料：総務省「地方公共団体の主要財政指標一覧」



財政力指数 県内市町村数
(2020(R2)～2022(R4)年度 3カ年平均)
資料：県市町村振興課

市町村経常収支比率

経常収支比率の県内市町村平均値93.4%
全国36位(全国平均92.2%)

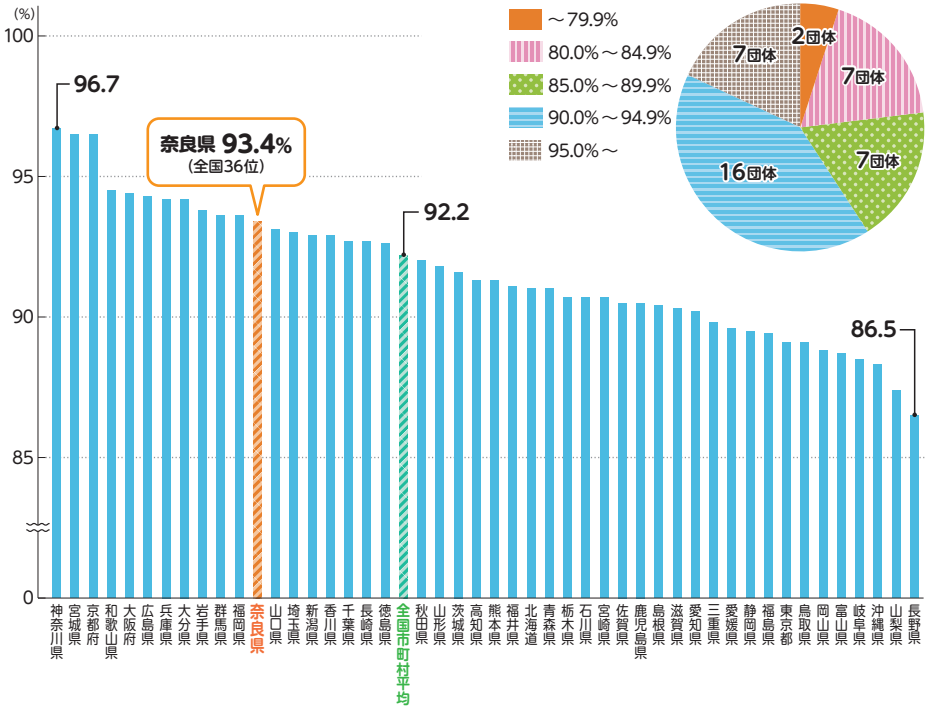
CHECK 経常収支比率は、県内市町村の平均値が2022(R4)年度で93.4%と高く、全国では36位となっています。
これは、本県市町村の税源基盤が脆弱であることに加え、人件費や公債費などが財政に重くのしかかっているからです。

経常収支比率とは、その市町村の財政の硬直化を表す指標で、「税収や普通交付税などの収入に対する人件費や公債費などの義務的経費が占める割合」により求められます。この比率が高いほど、財政が硬直化し、自治体独自の行政サービスができなくなる等、厳しい状況になっていきます。

※1 平均値の算出には、東京都特別区は含んでいない。
※2 全国の順位は数値の低い方から順に数えたもの。

経常収支比率　都道府県別市町村平均(2022(R4)年度)

資料：総務省「地方公共団体の主要財政指標一覧」



経常収支比率　県内市町村数(2022(R4)年度)

資料：県市町村振興課

市町村税徴収率

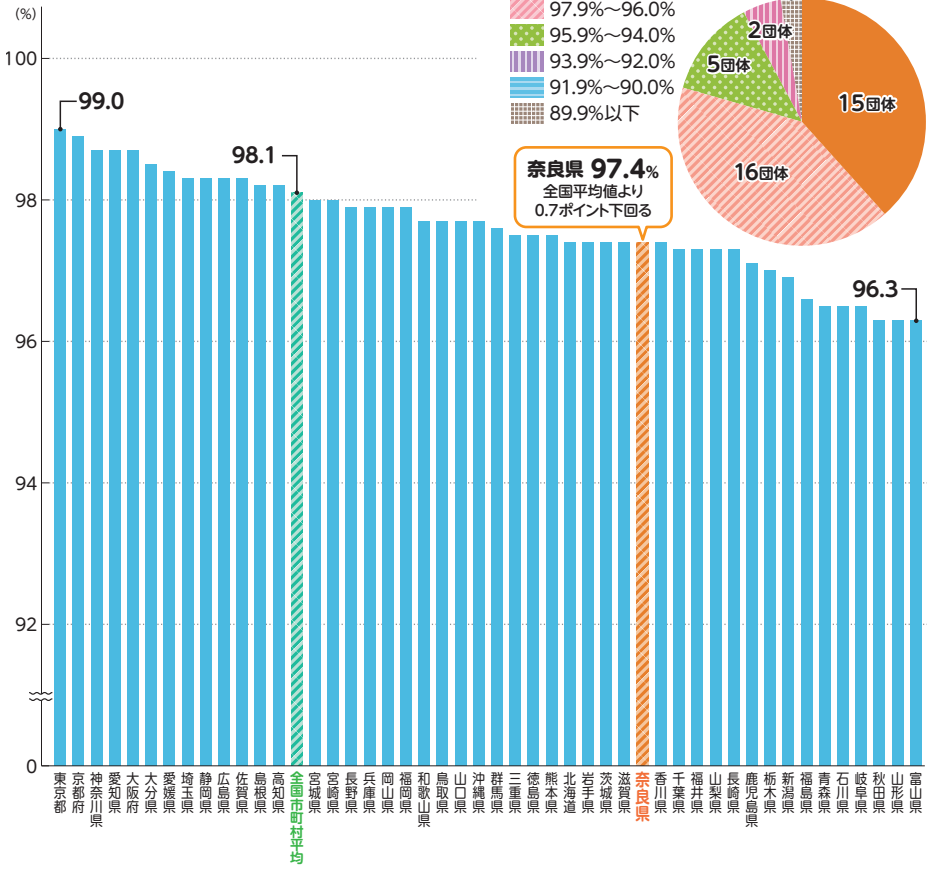
市町村税徴収率の県内市町村平均値は97.4%で、全国28位(全国平均98.1%)

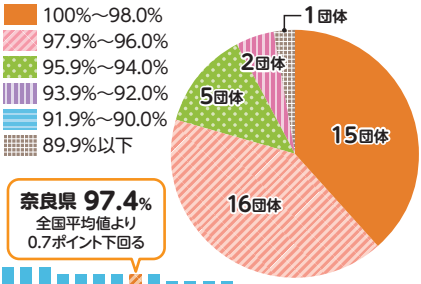
CHECK 市町村税徴収率は、県内市町村平均値が2022(R4)年度で97.4%となっており、全国平均値の98.1%より0.7ポイント下回っています。

市町村税徴収率とは、その市町村の税収の状況を表す指標で、「収入額:実際に徴収した金額」を「調定額:徴収することを決定した金額」で除したものです。

市町村税徴収率　都道府県別市町村平均(2022(R4)年度)

資料:総務省「地方財政状況調査」



市町村税徴収率　県内市町村数(2022(R4)年度)

資料:県市町村振興課